

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 グローカル探究実践事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3677)

教科教育第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3547)

産業教育係 電話番号：058-272-1111 (内 3881)

E-mail : cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,500 千円 (前年度予算額：11,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,000	0	0	0	0	0	0	0	11,000
要求額	7,500	0	0	0	0	0	0	0	7,500
決定額	7,500	3,484	0	0	0	0	0	0	4,016

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

AIやIoT等の急速な発展により社会が激しく変化する中、文系・理系という枠にとらわれず、5つの領域の学び (STEAM教育=Science、Technology、Engineering、Liberal Arts、Mathematics) を統合して深く探究し、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する取組が必要とされている。

(2) 事業内容

国内外の教育機関や専門性が高い機関、さらに、国際的な企業や地域の関係者など、今まで以上に幅広い外部機関・関係者と連携し、より高度な知見・専門性に基づいて、教科横断的・探究的な学習を実施し、「ふるさと教育」を推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	700	外部講師謝金
旅費	900	外部講師旅費等
消耗品費	1,983	研究活動費等
印刷製本費	30	研究報告書
役務費	550	講習会料等
使用料及び賃借料	357	バス借上げ等
備品購入費	2,930	研究機材等
負担金	50	大会参加費
合計	7,500	

決定額の考え方

財源には、地方創生推進交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 りふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標2 「ふるさと岐阜」を学びふるさと教育の充実

目標4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 令和4年度からの新学習指導要領実施に備え、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための、教科横断的・探究的な教育（STEAM教育）を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						達成率
① 教科横断的・探究的な教育を実施する高校数	未集計	未集計	63	63	63	—%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	A I や I o T 等の急速な発展により社会が激しく変化する中、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する必要があるため。
3	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	整備された I C T 環境により、オンラインで外部機関や他校の生徒と連携するため。
2	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ふるさと教育」を充実・深化し、教科横断的・探究的な教育（S T E A M 教育）の推進が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新学習指導要領実施とともに、先導的な取組みを先行実施し、その成果を各校に反映・展開する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	【〇〇課】